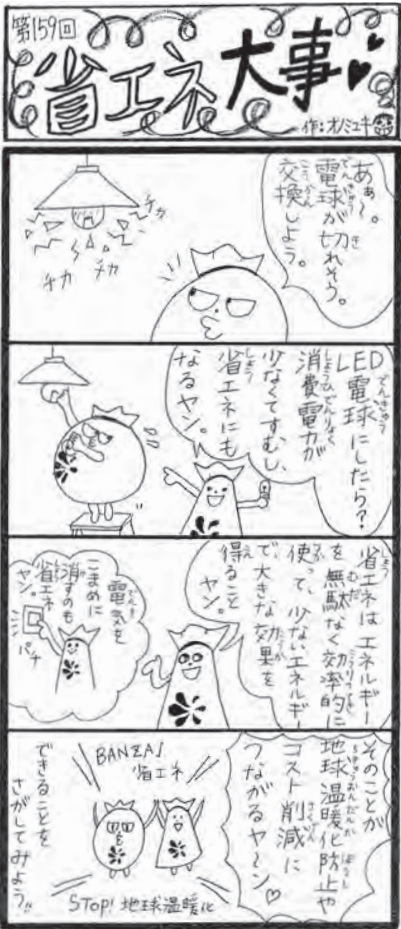




2月は省エネルギー月間です!

冬は、電気やガスなどのエネルギー消費量が多くなる季節です。省エネルギーは、エネルギーを無駄なく効率的に活用することをいいます。省エネルギーに取り組むことで、エネルギー使用量の抑制だけでなく、地球温暖化の防止にもつながります。家庭や事業所でできる省エネ対策について考えてみませんか?

省エネ対策(家庭編)

- LEDランプに取り替える
- 入浴は間隔を空けないようにする
- 冷蔵庫の開けている時間を減らし、食品を詰め込みすぎないようにする
- 不要な照明を消す

省エネ対策(事業所編)

- 省エネ診断を受ける
- ウォームビズに取り組む



滋賀県では、「ゼロナビしが」のホームページで、家庭や事業所に向けて省エネや脱炭素に関するさまざまな取り組み事例や支援制度を紹介しています。

可燃ごみ搬出量

現在、ざん定処置として、三重県の民間ごみ処理業者へ委託して焼却処分しています。ごみの量に応じて処理費用を負担することになりますので、ごみの分別や減量にご協力ください。

測定月	収集量
令和6年12月分	1,067t
令和7年12月分	1,139t (前年比72t増)

安全安心

交通事故発生状況

問 高島警察署 ☎(22)0110
(令和7年12月末現在)

内 容	件 数	前年比
人身事故発生件数	77件	-10件
死 者 数	4人	+1人
傷 者 数	99人	-7人

発生場所	件 数
マ キ ノ	12件
今 津	10件
朽 木	1件
安 曇 川	19件
高 島	19件
新 旭	16件

※概数

火災・救急・救助件数

問 通信指令課 ☎(22)1234
(令和7年12月末現在)

火 災	件 数	前年比
建 物	6件	-2件
車 両	5件	0件
林 野	0件	0件
そ の 他	5件	-3件

救 急	件 数	前年比
交通事故	151件	-17件
一般負傷	527件	-1件
急 病	2045件	-130件
そ の 他	393件	-16件

救 助	件 数	前年比
火 災	0件	0件
交通事故	21件	+5件
水難事故	7件	-6件
そ の 他	31件	+8件



令和7年1月からの累計数になります。

環境放射線測定結果

問 原子力防災対策室 ☎(25)8133

12月平均値(平日測定) 前月平均値

マキノ(マキノ支所前駐車場)	0.062μSv/h	0.068μSv/h
今 津(今津支所車庫付近)	0.038μSv/h	0.038μSv/h
朽 木(朽木支所前駐車場)	0.056μSv/h	0.058μSv/h
安曇川(安曇川支所南側駐車場)	0.050μSv/h	0.049μSv/h
高 島(高島支所東側駐車場)	0.071μSv/h	0.069μSv/h
新 旭(高島市役所本館北側車庫付近)	0.060μSv/h	0.061μSv/h

※測定地点は他に24か所あります。昨年度の測定結果は、市のホームページをご覧ください。
※日本での自然放射線による時間線量の通常値はおおむね0.2μSv/h以下です。

教育委員会 information

もりもり食べよう! たかしまの学校給食

市内には、安曇川と今津の2つの学校給食センターがあり、市内18の小中学校に1日当たり約3,000食の給食を提供しています。給食の献立は、文部科学省が定める学校給食摂取基準に基づき作成しています。季節感が感じられるものや、素材を生かした調理法に配慮するなど、手作りの味を大切にしています。また、本市の学校給食では高島市学校給食食育年間計画を定め、食育にも取り組んでいます。

ここでは学校給食での本市独自の食育の取り組みを紹介します。

もりもり高島っ子の日

毎月、食育の日(19日)を「もりもり高島っ子の日」とし、食育目標を決めて、テーマに沿った献立を作成し提供しています。また、給食時には、各校で給食日より食に関する指導資料を活用し、児童・生徒への食育が行われています。



大豆を食べよう給食

学校給食では、本市で収穫された野菜などの地場産物を積極的に活用しています。特に「高島デー」では、地場産物や郷土料理を献立に取り入れ、児童・生徒がふるさとの魅力を知る機会を提供しています。



びわ湖でとれた小あゆを使用

リクエスト給食

小中学校から募集した献立を「リクエスト給食」として提供しています。児童・生徒が学んだことを生かして考えた献立を提供することで、給食への興味や関心を高める機会としています。



冬の旬の食事を知ろう



今城・元氣・本気 通信

Vol.8



人の力を生かす仕組みづくり

高島市には都市部の人々を惹き付ける魅力や豊かな地域資源がありますが、それらを生かすのはやはり人の力です。人の力を生かすためには、民間と行政それぞれの強みを発揮しながら一緒に新たな価値を生み出す「官民共創のまちづくり」が効果的であると考えています。

「官民共創のまちづくり」を進めるには、具体的な題材やエリアについて、主体的に関わる市民や民間の方々と行政が一緒になってチームを立ち上げて、さまざまな取り組みを一つにつなぐなど、新たな取り組みに挑戦したりするといった方法が考えられます。

「官民共創のまちづくり」は、ごく一部の例ではありますが、空き家の新しい活用とモデル集落の賑わいづくり、スポーツを生かしたまちづくり、地域医療の仕組みづくりなど、さまざま

な題材や分野が考えられます。新しいアイデアも必要ですので、高校生や大学生との関わりも重要になります。

まちづくりだけではなく、市政全般を進めるにあたっては、市役所の内部でも人の力を生かすことの大切さは同じです。

昨年、若手職員と意見交換を行う中で、彼らの持つ熱い思いや取り組みを聞かせていただき、高島市にとって大きな力になることを実感しました。市役所の内部でも、若手職員の力やアイデアが発揮できる体制づくりを進めなければならないと思いました。

このように、今年は「人の力を生かす」ことを重要なテーマにして、地域の可能性を広げていきたいと考えています。一年で最も寒い時期を迎えております。くれぐれもお体を大切にしてお過ごしください。

高島市長 今城 克啓